

都市再生整備計画事業 事後評価シート
木曽川左岸江南北部地区
(原案)

パブリックコメント時点

平成22年10月

愛知県江南市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	愛知県	市町村名	江南市	地区名	木曾川左岸江南北部地区			面積	985ha
交付期間	平成18年度～平成22年度	事後評価実施時期	平成22年度	交付対象事業費	1,126百万円	国費率	0.4		

1) 事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		事業名 道路:市道小枳山尻線、道路:市道北部第291号線、道路:市道北部第857号線、道路:市道北部第856号線、道路:市道北部第331号線、道路:市道北部第526号線、公園:高屋西町公園、高質空間形成施設(遊歩道・サイクリングロード整備事業、曼陀羅寺公園整備事業、「花の広場」(「花の駅」)整備事業、緑化施設整備事業) 地域創造支援事業:高屋小規模排水路整備事業、地域創造支援事業:景観形成事業(休耕地活用事業)、地域創造支援事業:市民緑化推進事業、まちづくり活動推進事業:花いっぱい運動事業						
	当初計画から削除した事業		事業名 削除/追加の理由 削除/追加による目標、指標、数値目標への影響						
	新たに追加した事業	基幹事業	なし						
		提案事業	なし						
	交付期間の変更	当初	平成18年度～平成22年度	交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響					
		変更	平成18年度～平成22年度						
	基幹事業	道路:市道北部第491号線 高質空間形成施設:市道小枳山尻線 高質空間形成施設:市道北部291号線 高質空間形成施設:市道北部第526号線 高質空間形成施設:市道北部第491号線	市道北部第526号線につながるネットワーク道路として整備するため新たに追加 道路事業から高質空間に位置づけを変更 道路事業から高質空間に位置づけを変更 道路事業から高質空間に位置づけを変更 観光客などの安全性を高めながら回遊性を高めるため新たに追加する				主に指標1に関連するが、ネットワーク道路と位置づけられるため、目標:指標は据え置く 影響なし 主に指標1に関連するが、目標:指標は据え置く 主に指標1に関連するが、目標:指標は据え置く		
	提案事業	地域創造支援事業:曼陀羅寺公園ステージ屋根設置事業 事業活用調査:事業効果分析調査	雨天時におけるステージイベントの集客数確保のため事業を追加 まちづくり交付金事後評価において客観的な評価、指標数値の算定等に必要分析調査をするため追加				主に指標1に関連するが、目標:指標は据え置く 影響なし		

2) 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
	単位	基準年度	基準年度	目標年度	モニタリング	評価値						
指標1	来街観光客数	人/年	600,000	H17	800,000	H22	1,119,200		あり	遊歩道・サイクリングロード整備をはじめとする観光関連施設の整備により、総合的な観光資源の魅力が図られ、観光客数の大幅な増加に繋がった。また、道路整備によるアクセス性の向上や修景整備による街並み形成も利便性向上や魅力創出の面で効果が発現した。	H23.5	
指標2	公共宿泊施設利用率	%	67	H16	77	H22	63		あり	遊歩道・サイクリングロード整備をはじめとする観光関連施設の整備により、総合的な観光資源の魅力が図られ、減少傾向にあったすいとびあ江南の利用者数が増加に転じている中で、宿泊施設利用率の減少の抑制に寄与した。なお、事業による効果以外に、経済情勢の低迷による影響が大きく表れていると考えられる。	H23.5	
指標3	花いっぱい運動等活動個所数	個所	8	H17	20	H22	20		あり	花いっぱい運動の活動場所が整備され、花いっぱい運動等活動個所が増加した。また、花いっぱい運動事業等により住民に花いっぱい運動を根付かせ、運動の促進につながった。	H23.5	

3) その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		従前値		目標値		数値		目標達成度 ¹⁾	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
	単位	基準年度	基準年度	目標年度	モニタリング	評価値						
その他の数値指標1	すいとびあ江南利用者数	人	130,490	H17			166,717				遊歩道・サイクリングロード整備をはじめとする観光関連施設の整備により、総合的な観光資源の魅力が図られ、減少傾向にあったすいとびあ江南の利用者数が増加に転じた。また、道路整備によるアクセス性の向上や修景整備による街並み形成も利便性向上や地区イメージの向上に繋がり、利用者数の増加に寄与している。	H23.5

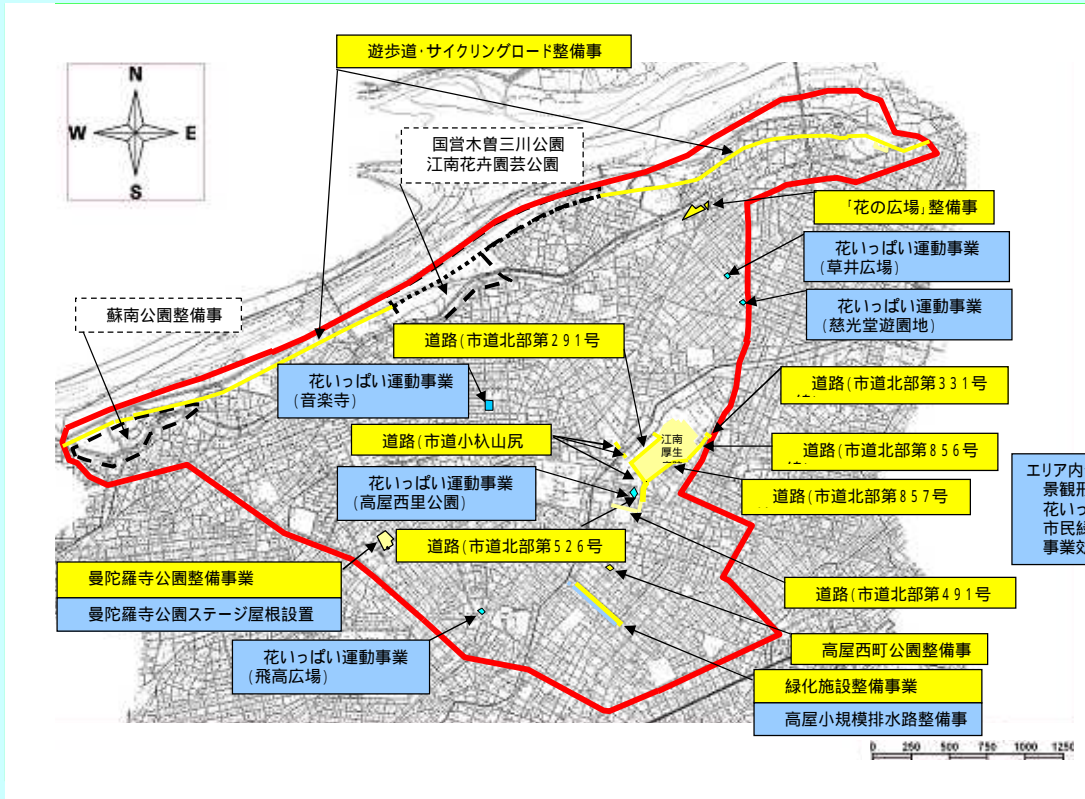
4) 定性的な効果発現状況
 本地区は、「花いっぱい 元気いっぱいのまち江南」を目指し、以下のことが実現した。
 ・花いっぱい運動により、住民と協働で美しい景観を形成した。
 ・観光施設が充実し、多くの観光客が来場したことにより本対象地区の情報を発信することが出来た。
 ・遊歩道・サイクリングロードの整備により点在していた観光施設が有機的につながり、地区の一体感を醸成した。

5) 実施過程の評価	実施内容		実施状況		今後の対応方針等	
	モニタリング	なし	都市再生整備計画に記載し、実施できた	都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した	都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった	
	住民参加プロセス	花いっぱい運動の推進	都市再生整備計画に記載し、実施できた	都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した	都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった	今後も同様に継続していきたい。
持続的なまちづくり体制の構築	なし	都市再生整備計画に記載し、実施できた	都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した	都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった		

様式2 - 2 地区の概要

木曽川左岸江南北部地区(愛知県江南市) 都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値	目標値	評価値	
「花」と「緑」をキーワードとし、花と緑を散策道として遊歩道・サイクリングロードの整備、花いっぱい運動の積極的な推進など様々な事業を展開し、市民一人ひとりが「花」に関心を持ち、地域住民が花を楽しみ、花に親しみ、笑顔と活力が満ちあふれることで、多くの観光客が江南市を訪れたいかなるようまちづくりを進め、「花いっぱい 元気いっぱい」のまち江南を目指す。	来街観光客数	単位:人/年	600,000 H17	800,000 H22	1,119,200 H22
	公共宿泊施設利用率	単位:%	67 H16	77 H22	63 H22
	花いっぱい運動等活動箇所数	単位:箇所	8 H17	20 H22	20 H22



エリア内全域にわたる事業
 景観形成事業(休耕地活用事業)
 花いっぱい運動事業
 市民緑化推進事業
 事業効果分析調査



まちの課題の変化
 ・来街観光客数は、都市再生整備計画事業後に増加に転じた。花いっぱい運動等の活動箇所が増加し、魅力と活力あるまちづくりに寄与している。
 ・国営木曽三川公園江南花卉園芸公園の開園とサイクリングロード整備等により魅力の一体化が図られ、来街観光客数の増加に寄与した。
 ・社会経済情勢の影響により、すいとびあ江南の宿泊施設利用率(公共宿泊施設利用率)の減少が続いている。新病院の開院に伴い、周辺道路の交通渋滞等の問題が生じている。

今後のまちづくりの方策(改善策を含む)

- 地域資源の積極的活用
- 観光資源やイベント等の充実により、増加に転じた来街観光客数の維持・増加を図る。【各種イベント等の維持・継続】
- 既存施設の改善・充実(蘇南公園整備・公園長寿命化計画)
- まちづくり活動の継続・活用
- 花いっぱい運動等の維持・充実を図り、市民主体による魅力と賑わいのあるまちづくりを推進する。【花いっぱい運動等(継続・充実)】
- 既存施設の有効利用の促進
- 公共宿泊施設の利用者の多様化への対応(企業中心から高齢者・子供等への利用者層の拡大)【公共宿泊施設の魅力化計画(企画立案)】
- 新病院周辺の道路交通環境の改善
- 歩行者の安全性と病院へのアクセス利便性を両立する道路ネットワークの構築【市道整備事業(通過交通を排除する交通規制の適切な実施など)】